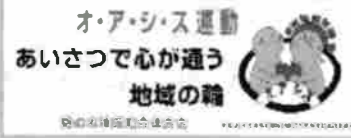


# 鶺の木地区地域情報紙

第85号

# さんぽみち



発行：地域力推進鶺の木地区委員会  
編集：鶺の木地区 地域情報紙編集委員会  
事務局：鶺の木特別出張所  
電話(3750)4241 FAX(3750)2418

鶺の木特別出張所管内の人口 (平成28年3月1日現在)
男 11,694人
女 12,797人
計 24,491人
世帯数13,165世帯

## 第12回鶺の木地区 高齢者ふれあいフェスタ が開催されました!

高齢者ふれあいフェスタ  
実行委員長 久保井 加津子

日溜りに春の気配を感じる三月三日(木)大田区民プラザで第十二回鶺の木地区高齢者ふれあいフェスタが開催されました。第一部、開会式が終わり、いよいよステージ「民謡まつり」の始まりです。大泉会 会主大榎氏をはじめ10名の方々の素晴らしい三味線と民謡は、会場を一気に華やかで賑やかなお祭りへ変えてゆきました。次は、多摩堤保育園児のお遊戯です。元気一杯の舞台は私達の心を明るく元気づけてくれました。第二部は、お楽しみみブースの開幕です。地元の企業や多くの協力団体、各元気塾、ボランティの高校生、実行委員と事務局、その他多くの方々の協力と努力の上に今年もまた素晴らしいフェスタになりました。これからも愛されてゆくことでしょう。



## 「うちら」子どもクラブ の活動報告

青少年対策鶺の木地区委員会  
渡邊 武

「こちら子どもクラブ」は、平成十四年に鶺の木地区で初めて誕生した希望加入制の地域子ども会です。活動内容は、小学生以上のジュニアリーダーと中学生以上生以上の高学年会が中心となつて年間の計画をたてます。毎月の活動は、創作的な遊びやグループゲーム、季節のパーティーや調理活動など様々で、進行はすべて子どもたちが行います。全体の活動のほかに、高学年以上の行事として平和島キャンプやお祭りに出店などがあり、お祭りでは子ども向けのお店を開き、得た収益を被災地へ寄付しています。入会は一年中受け付けていますので、一度遊びに来てください。詳しくはホームページで。お問い合わせ先：鶺の木特別出張所 青少年担当 3750-4241

対象：小学生・中学生・高校生  
その年齢に該当する青少年



## 平成28年 新年度を迎えて

鶺の木地区町会連合会  
会長 大芦 重雄



今年度も、七町会では様々な活動運営を行って参ります。防火・防災・防犯に力を入れ、安全で住みやすい町づくりを進めて行こうと思ひます。

三月三日に開催されました「高齢者ふれあいフェスタ」にも、多数の方々が参加されました。ご協力有難うございます。鶺の木地区連合会の各事業を、行政をはじめ各協力団体・関係機関と連携し、青少年対策鶺の木地区委員の若い力を借りて推進して参りますので、各町会の皆様のご支援ご協力をお願い致します。オアシス運動、水と緑のまちづくり、大田区の中で一番に作られたうき水辺の楽校にも、ご支援戴きたいと思ひます。秋には連合運動会、市民消防隊の操法訓練を予定しております。今後共、連合会行事にお力添えをお願い申し上げます。

## 都の「防災ブック」 大好評で市販140円!

黄色カバー、昨年九月に一家一冊配布されたブック。イラストが多くわかりやすく実用的と好評。防災の授業で活用する学校もあり、企業や都外からも要望が相次いでいるようです。どれどれと、もう一度頁を開けてみては... 文 田中 裕

お問い合わせ先：都民情報ルーム  
03-5388-2276

## プロボクシング 田口良一選手 V2達成!

おめでとう。地元千鳥小・大森七中卒業生の田口選手。昨年十二月三十一日WBAライトフライ級タイトル戦で、9回終了のTKO防衛戦に勝利しました。文 田中 裕

## 出張所だより

表彰(敬称略)  
平成27年度  
大田区青少年表彰  
模範青少年部門  
喜奈 政也  
(下丸子四丁目町会)  
渡邊 康介  
(鶺の木西町会)

## 第65回大田区子ども ガーデンパーティー 開催されます!

青少年対策鶺の木地区委員会  
実行委員長 田沼 保彦

毎年区内十会場で開催される大田区子どもガーデンパーティーは、五月八日(日)に行われ、鶺の木地区では、嶺町、田園調布地区と協力して、多摩川公園にて開催いたします。ジュニアリーダーの皆さんによる数々のゲーム、校外委員の手作りコーナー、鶺の木地区の空中ブランコ等、小さなお子様でも楽しめる企画もございます。昼食時には大森第七中学校吹奏楽部、多摩川鶺の木太鼓の演奏が行なわれます。生やお父様達のアラサーのお手伝い活動の機会を頂き、委員一同大変感謝しております。皆様のお越しをお待ちしております。



※ご来場の際は、必ず公園事務所入口内の受付でお子様用のカードをお受け取り下さい。

## たくさんの善意

平成27年度に日本赤十字社をはじめ、鶺の木地区各町会を通じて行った募金活動等について報告します。たくさんのご協力ありがとうございました。

日本赤十字社社資募集	2,094,010円
共同募金	2,071,225円
歳末たすけあい募金	2,045,846円

## 編集後記

原稿を執筆の今、小庭の古木白梅が力を出しきつて咲いている。梅園には遠く及ばないが、一生懸命に自己主張する姿が健気だ。僅かな香りを求め、柔らかい光を浴びての、めじろや小鳥たちが無邪気だ。時が過ぎ桜の季節を迎えた。「地域の学校一年を振り返って」卒業する子供たちの気持ちを尋ねてみた。一方、四月から電力小売自由化、引続きマイナンバーカード移行、マイナズ金利、ジカ熱など情報を得ておきたい。

編集長 田中 裕

## 《多摩川台公園》

東急多摩川線多摩川駅より 徒歩1分



日時：5月8日(日)  
午前10時～午後3時  
会場：多摩川台公園  
※雨天の場合は、東調布第一小学校体育館で行います。



～卒業する子ども達の夢と思い出～

5年生の時の  
移動教室が一番の  
思い出です♪



給食で  
タンドリーチキンが  
美味しかったです♪



将来、学校の体育の  
先生になりたいです!



運動会の応援団長を  
がんばりました!



大田区立東調布第三小学校

校長 菅谷 美津江

平成27年度も地域の学校として多くの方々に支えられ、子供たちの頑張りが輝きました。隔年で開催した展覧会では、子供たちの作品を披露して多くの保護者・地域の方々にご来校いただきました。第15回エコフェスタワンダーランドの会場校となり、多くの子供たちがキッズスタッフとして活躍し、お褒めの言葉を頂きました。また、参加団体の方々からの事前事後の出前授業(環境学習)で学びを深めました。運動会の組体操・移動教室報告会・学校探検・異学年グループでの清掃活動等、様々な教育活動の中で高学年から低学年に伝える活動を通して、よりよい人間関係を育みました。

オリンピック選手(モーグルスキー)との交流で、夢や目標に向かって努力することを実践しました。たくさんのゲストティーチャをお迎えし、生き方や様々な文化を学びました。これからも子供たちが「自分を見つめ」「他者を見つめ」生き生きと学校生活を送れるよう尽力してまいります。

○創立：昭和4年  
【平成28年3月1日現在】  
平成27年度卒業生： 54人  
平成28年度新入生： 69人  
在校生： 310人

～卒業する子ども達の夢と思い出～

クラスメイトと  
仲良く過ごせた♪



給食で魚を使ったメニュー  
が美味しかったです♪



将来、  
プロサッカー選手に  
なりたいです!



学級をまとめながら  
盛り上げる事を  
頑張りました♪



大田区立千鳥小学校

校長 本田 幸彦

平成27年度は、大田区教育委員会教育研究推進校、東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校、東京都小学校体育研究会推薦校として体育科の研究発表会を行うことができました。

大田区内外から多くの参観者があり、保護者や地域の方々にも授業の様子を観ていただきました。保護者の皆様をはじめ、多くの地域の皆様にご協力、ご支援いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

また、その一環として今年の9月には、本校の卒業生でWBA世界ライトフライ級チャンピオンの田口良一さんに来校していただき、子供たちと交流の場をもつことができました。

さらに、隔年で実施している学習発表会にも大勢の保護者や地域の方々に演劇を中心とした学習の成果を披露させていただきました。温かい拍手をいただきました。

今後も地域の皆様のご理解ご支援の下「地域と共に歩む学校づくり」を推進してまいります。

未来を担う子ども達  
地域の学校

～1年を振り返って～



大田区立大森第七中学校

校長 鶴貝 秀明

本校に赴任して一年となりました。思い出となると卒業生と同行した修学旅行が思い出されます。京都・奈良へは初めていく生徒が多く、当日を迎えるまでには見学地の確定やコースの設定と自らが学習しなければならないことが沢山あったはずですが、実際に旅行での活動は、事前に作成した見学コース通りには交通の状況などから必ずしも思い通りにはいきません。そこで、グループの中で課題を検討し、考え、決断をする。本部の先生に連絡を取り、許可をもらいコース変更を行う。その繰り返しは修学旅行の成功への足掛かりになったはずですが、最上級生として一人一人がどのような生活を送ればよいのか、後輩にあたる生徒へどのような先輩であるべきか。多様な場面でリーダーとしての責任ある行動、進路に向けた複雑な胸中、卒業した生徒たちとのよい思い出になっております。

○創立：昭和22年  
【平成28年3月1日現在】  
平成27年度卒業生：186人  
平成28年度新入生：190人  
在校生：507人

○創立：昭和23年  
【平成28年3月1日現在】  
平成27年度卒業生：119人  
平成28年度新入生：129人  
在校生：749人



大田区立嶺町小学校

校長 東山 良彦

9月に本校の校舎改築工事が完了し、11月の運動会は新校庭での初開催になり、演技種目などゼロから計画を立てることになりました。その中で最大の問題は「限られた敷地内での会場設営計画」でした。「約750名の児童席をどう配置するか」「観覧席をどうするか」「受付や安全管理の方法は」など、解決しなければならないことが山積みでした。

その中で改めて感じたことは、保護者・地域の方々の協力のありがたさです。「演技学年優先席」「学年識別リボン着用」「体育館でパブリックビューイング」など様々なアイデアを出していただき、安全管理などにボランティアで参加していただきました。鶴の木地区の方々には子供たちはいつも温かく見守られながら、安心して力を伸ばしています。

この春、68期生119名が卒業し、卒業生総数が9042名になりました。この地域で育てられた子供たちが、次の世代で活躍することを期待しています。

～卒業する子ども達の夢と思い出～

野辺山移動教室、  
運動会、学芸発表会、  
社会科見学、修学旅行、  
学校生活すべてが  
思い出です。



おいしい給食を  
食べることが  
できました♪



人の役にたつ職業に  
就きたいです!!



様々な行事の  
取り組み、部活動  
を頑張った!



～卒業する子ども達の夢と思い出～

移動教室が  
楽しかったです!  
また、行きたいです!



給食のあげパンが  
美味しかったです♪



将来、モデル・  
デザイナーに  
なりたいです!



組体操で大技を  
がんばりました♪

